



神奈川県農山漁村発  
イノベーションサポートセンター

<https://6sapo-kanagawa.net>

# 農林水産物・地域資源を 活用した生産者のための相談窓口

 045-633-5215

 神奈川県横浜市中区尾上町5-80  
中小企業センター2F

運営会社：株式会社コンサラート



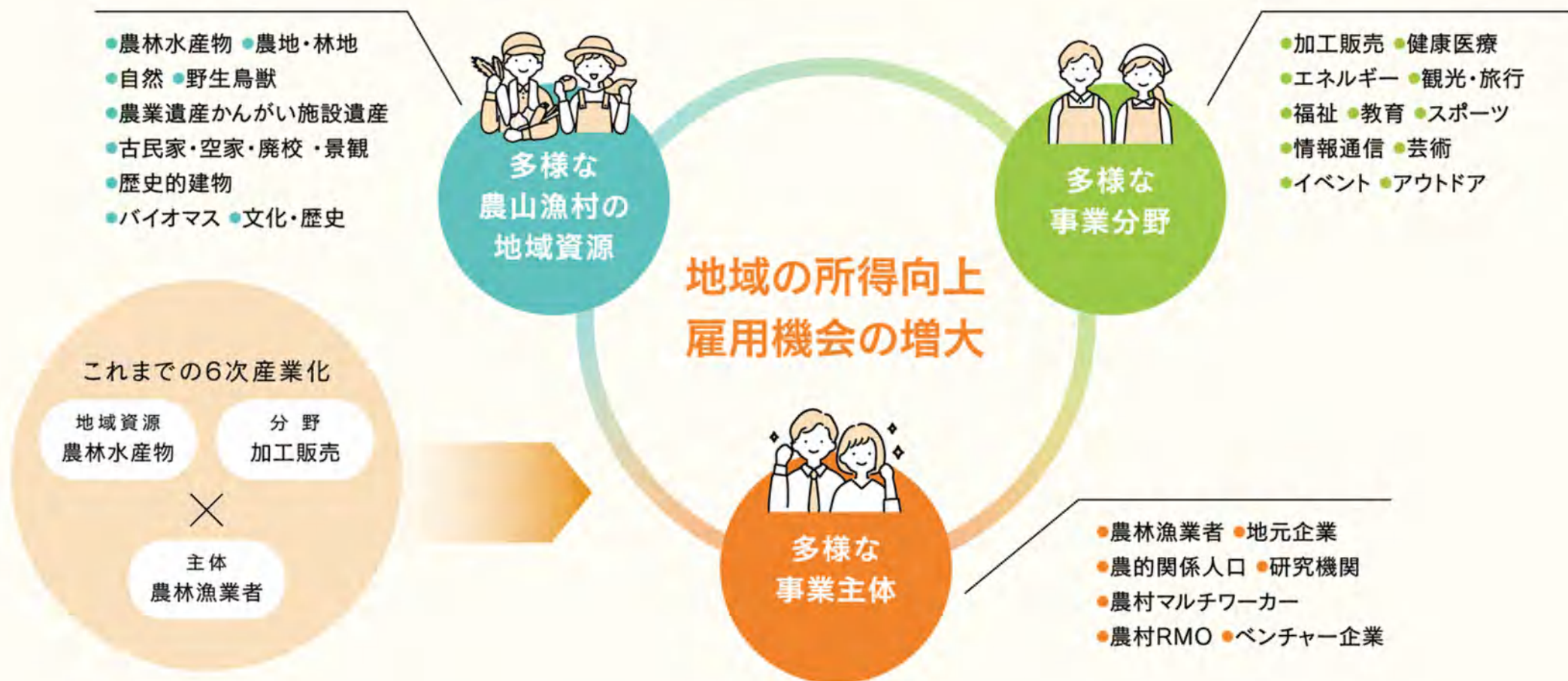
01

# Contents

- ① 農山漁村発イノベーションサポートセンターとは
- ② 個別相談窓口
- ③ 商品開発のためのプランナー派遣制度
- ④ 研修会・講習会（人材育成）
- ⑤ 研修会・講習会（デジタル活用・スキルアップ）
- ⑥ 支援事例コラム1
- ⑦ 支援事例コラム2

# 農山漁村発イノベーションサポートセンターとは

農林水産物・地域資源を活用したい生産者のための相談窓口です



主に下記の事業を行っています。

01

個別相談窓口の設置

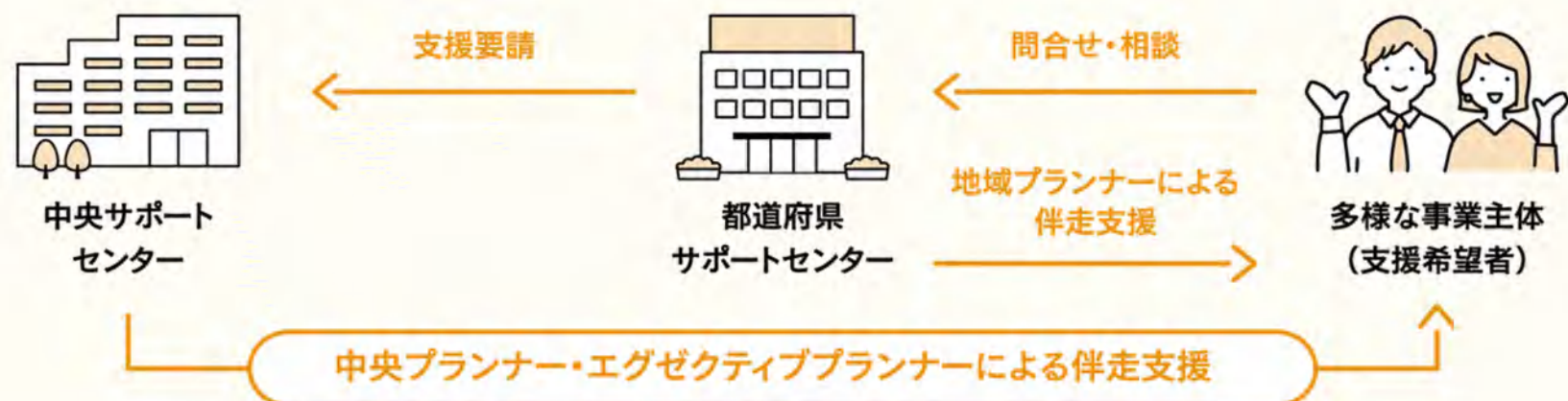
02

商品開発のための  
プランナー派遣制度

03

研修会の開催

## 農山漁村発イノベーションサポートセンターによる支援



# 個別相談窓口

費用  
無料

お気軽に電話・メール・オンラインでご相談いただけます。

作った商品が  
思うように  
売れない

サービス作りの  
進め方が  
わからない

宣伝や業務の効率化  
のために  
SNS等を活用したい

商品サービス開発に  
利用できる  
制度を知りたい

上記のようなお悩みを抱える方に対して各種相談を受け付けています。

## 具体例

- 農林水産物を活用した新商品を作りたいが、何から進めて良いかわからない
- 商品を作りたいが自分で生産する時間も場所もないので困っている
- 商品開発に利用できる補助金などの制度を知りたい
- 新しくやりたい事業があるが、採算が取れるかわからない



## 相談の流れ

1. お電話(045-633-5215)もしくは県ホームページのお問い合わせフォームより承ります。
2. お電話もしくはメール、オンライン (Zoom) 等によりアドバイスを行います。



県HPはこちら

# 商品開発のためのプランナー派遣制度

費用  
無料

農林水産物等を活用した事業の売上増加、所得向上を目指すために  
売上増加・業務改善を目指す農林漁業者に、専門家（プランナー）を無料で派遣

## 具体例

- 自社加工品のレシピ開発や、パッケージ等の改善により売上アップを図りたい
- 6次産業化事業に関する財務分析等を行い、業務拡大の基盤を作りたい
- 新たに直売所や農家レストラン、観光農園、農福連携等の連携に取り組み、業務拡大を行いたい
- 開発した商品等の販路拡大による売上アップを図りたい



## 申込～支援までの流れ

1. 申込（応募期間あり）
2. サポートセンターにて事前ヒアリング
3. 地域委員会にて面接審査
4. 審査結果のご連絡
5. 支援開始  
(支援計画作成後、プランナー派遣開始)

## 留意事項

- 申込書にて3～5年間の計画を記入し、決算書と合わせて提出してください。
- 支援を受ける方は、支援後3～5年間にあたって規定の様式による経営改善状況報告、決算書の提出が必須となります。
- 審査の結果、支援を受けられない可能性があります。
- その場合には個別相談等をご利用ください。



# 研修会・講習会

人材育成のご紹介

## 【農林水産物の価値を再発見！体験型研修会】

神奈川県の農山漁村の魅力を活かした新たな挑戦を応援します。  
地域の特産品開発や農業体験プログラムの企画など、付加価値の高い取り組みを目指す  
4日間の実践的な研修会を開催いたします。

### ■開催概要

- ・参加費：無料
- ・対象：初級者
- ・内容：
  - 地域産品の商品開発方法
  - 農業体験サービスの企画立案
  - 食品衛生の基本
  - 収益管理の基本知識
  - 加工品づくり実習



自らが携わる農林水産物に新たな可能性を見出し、  
地域の魅力を存分に引き出すためのノウハウを習得できます。  
会場では生産者同士のグループワークも好評です。

# 研修会・講習会

## デジタル活用スキルアップ講座のご紹介

### 【農林漁業者のためのデジタル活用プロモーション講座】

#### ■開催概要

- ・参加費：無料
- ・対象：初級者
- ・内容：
  - \*R6年度実施例
  - ・デジタルマーケティング基礎
  - ・SNS投稿・動画作成実習
  - ・生産者の取組事例紹介
  - ・商品撮影・画像編集実習



90分で作ってみよう！

Canva

使い方講座

もっと効果的に  
商品をPRしたい



SNSを販売促進  
に活用したい



隙間時間で効率よく  
プロモーションしたい



現場で即実践できる！

基礎知識から実践テクニックまで、明日から使える  
実用的なノウハウを習得

経験豊富な講師陣！

SNSマーケティングの専門家やプロカメラマンから  
直接学べる

少人数制ワークショップ！

商品撮影や動画編集など、実践的なスキルを丁寧に指導



# 支援事例コラム①

## パッケージデザイン支援の現場をご紹介します！

### 希少なサツマイモを 価値をつけて販売したい！



神奈川県内の生産者が伝統的な栽培方法で作られる特徴的な味わいのサツマイモ。根強いファンはいるものの、まだ売り場での展開が限られ、一般の消費者への認知度は低い状態でした。

より多くの方に知っていただくため、新たに贈答用の箱のデザインを手がけることに。まずは伝えたいことの整理から始め、誰に知ってもらいたいのか、どう思ってもらいたいのかを明確にし、そこからデザインイメージの検討を重ねました。

支援の過程では、消費者への訴求だけでなく、生産者が持つ誇りや伝統を表現することの大切さにも気がつきました。これらの要素を整理して落とし込まれたデザインは、伝統と誇りを感じられつつ、新しい層にも受け入れやすい仕上がりとなり、次期販売シーズンからデビューする予定です。



## 支援事例コラム②

### 農業生産管理の現場をご紹介します！

#### インバウンドの成長機会を捉えるために！

神奈川県内のいちご農園から相談がありました。現在、いちご狩りや野菜の収穫体験を提供しているものの、来園者の大半は国内（特に県内、首都圏）のお客様でした。

近年のインバウンド需要の高まりと、農園内に外国語対応可能な人材がいる強みを活かすため、J-GAP認証の取得を目指すことに。これにより「管理された安心できる農園」として海外からの来客増加を狙いました。

GAPは生産工程の管理と安全な農作物の生産を認証する制度です。GAP指導員資格を持つプランナーと共に、栽培技術だけでなく、食品安全や労働安全など、多岐にわたる項目を見直しました。

特に農場内の整理・整頓・清掃の徹底により、作業効率の向上といった副次的な効果も得られました。プランナーの支援のもと農園整備を進め、近くJ-GAP審査に臨む予定です。

